

プレスリリース

印刷

小型ソーラー電力セイル実証機「IKAROS(イカロス)」の 分離カメラの撮影成功について

平成22年6月16日
宇宙航空研究開発機構

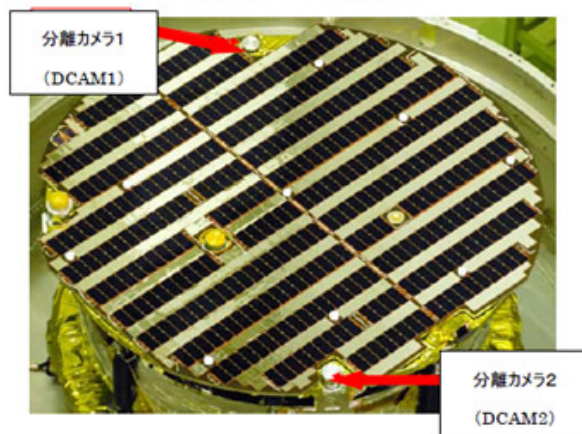
宇宙航空研究開発機構(JAXA)は、平成22年5月21日(日本標準時、以下同様)に種子島宇宙センターから打ち上げられたIKAROSの運用において、6月15日に分離カメラによって、展開後のセイル全景の撮影に成功しました。

継続して、薄膜太陽電池による発電の状態を計測し、光子圧を用いた加速及びそれによる軌道制御を世界で初めて実証し、ソーラーセイルによる航行技術の獲得を目指します。

分離カメラは直径約6cm高さ約6cmの円柱形状で、パネにより本体から放出され、撮影した画像を無線で本体に送ります。一度放出すれば二度と本体に戻ることはありません。分離カメラからの映像は、上段から下段にかけて遠方からの画像となっています。撮影のイメージについては下記CGを参照下さい。

<http://www.jaxa.jp/countdown/f17/overview/ikaros.j.html>

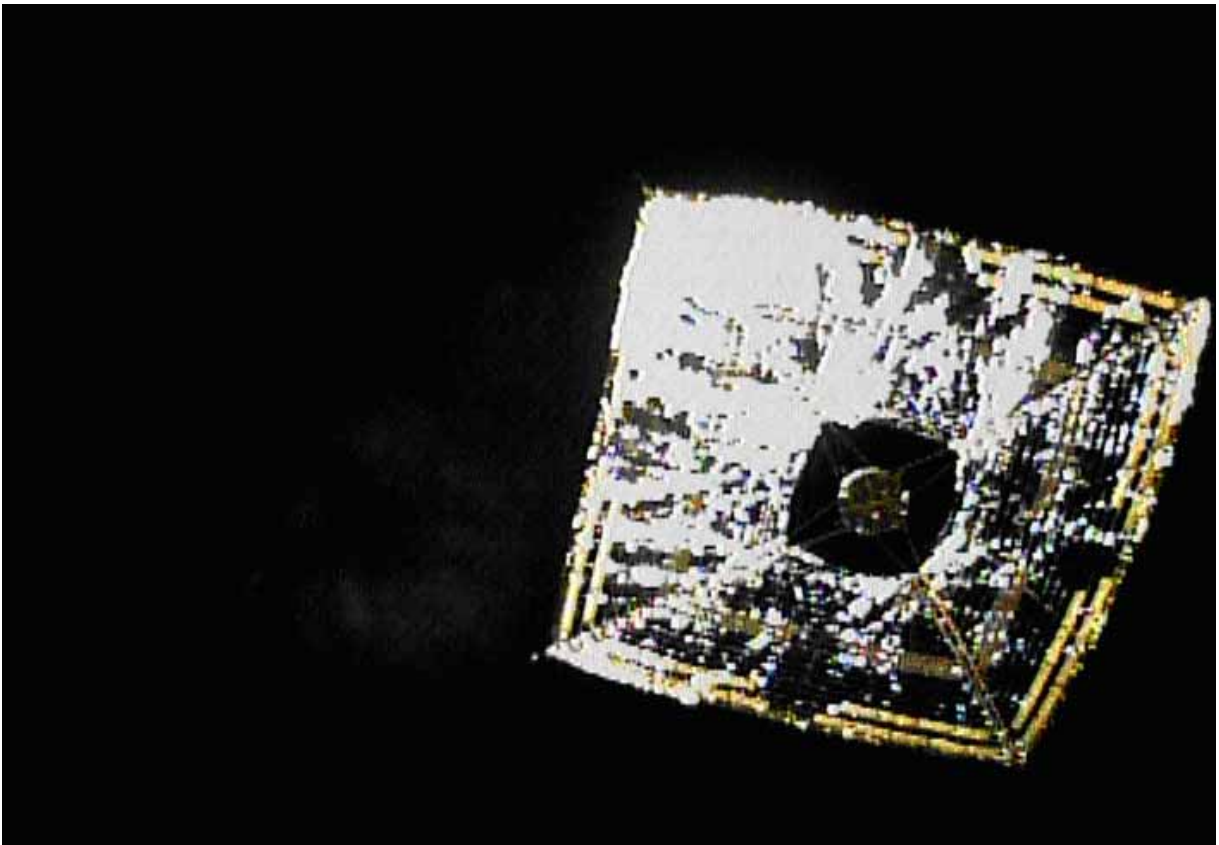
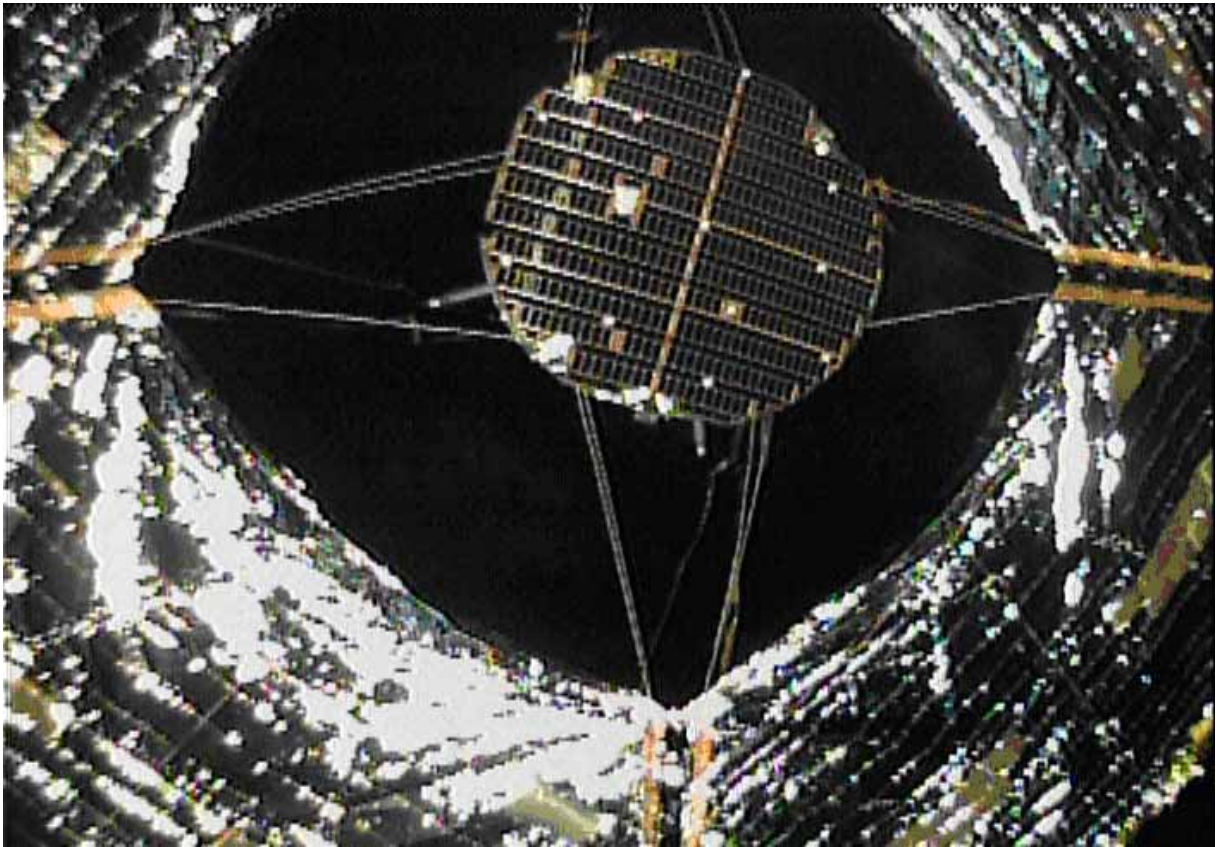
分離カメラ搭載位置



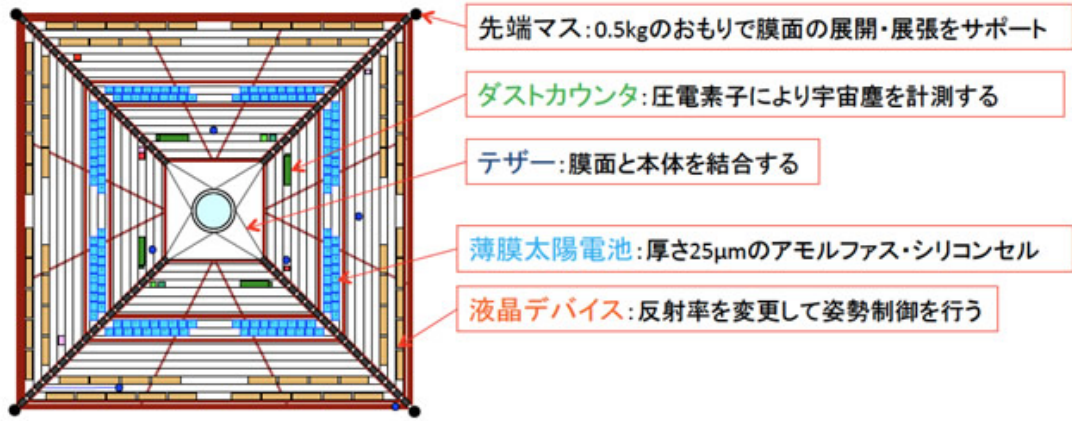
分離カメラ形状



分離カメラからの映像



イカロス膜面の模式図



膜面: 厚さ7.5 μm のアルミニウムを蒸着させたポリイミド樹脂製で補強処理(亀裂進展防止)を施してある

関連リンク:

[小型ソーラー電力セル実証機「IKAROS」](#)
[IKAROSプロジェクトサイト](#)

[2010年6月のインデックス](#)